

令和7年3月4日

令和6年度 浦安市立美浜南小学校 学校地域連携運営協議会 議事録

浦安市コミュニティ・スクール

浦安市立美浜南小学校

1. 会長挨拶

・1年間コミュニティ・スクール、学校地域連携運営協議会ということで、話し合いをもってきましたが、今日が最後になります。コミュニティ・スクールの充実に向け様々な視点からご意見をいただきたいと思います。

2. 学校長挨拶

令和6年度より始まったコミュニティ・スクールだが、委員の方も、学校職員も、地域の方もイメージがつかめず共通理解も難しく手探りの状態でした。しかし、何でもいからやってみることで、先に進むことができるので、コミュニティ・スクールの部屋を整備しました。この部屋に地域の方が自然と集まってくることを理想の形として、来年度はさらに前進していきます。

委員の皆様には1年間ご協力いただきありがとうございました。

3. 学校関係者評価（令和6年度のまとめ）について

- ・委員の方に以下の項目について自己評価を提示し、ご意見をいただいた。
- (1) 主体的な学び「意欲的に学び、学習したことを自ら活用する子」の育成
- (2) 自他を尊重する心「自他共に大切にすること」の育成
- (3) 健やかな体「心身ともに健康で元気な子」の育成
- (4) 豊かな心「豊かな心の中で学び合い、支え合う子」の育成
- (5) 不祥事防止高い倫理観を持ち、心身ともに健康で、明朗、快活な教員の育成
- (6) 小中連携「美浜中学校区の交流・連携」の積極的推進

◇委員の方からのご意見

- (1) 健やかな体の自己評価がCだが、スポーツテストの結果を活用してはどうか。全体の運動能力を引き上げるという視点で見るのではなく、個の得意分野を見極め、適したスポーツや種目を知らせ、個の運動能力と意欲面を伸ばすという視点で考えてみるとよい。生涯体育の基盤を小学校でつくれるとよい。
- (2) 投力の低さが目立つが、投げる力だけに目を向けるのではなく、各種目テストから得意なものを知らせ、その能力を伸ばすことに視点をシフトしてはどうか。
- (3) 体育的行事はどのようなものがあるか？ ⇒ 運動会、チャレンジ縄跳び、ドッジボール大会、体力向上イベント
- (4) 考える体育を展開したい。子どもに気付かせる体育をぜひ。跳び箱何段跳べるようになるかには、どんな練習をすればよいか。練習の場所、設備を用意し、子どもに選ばせる仕組みをつくることも意欲につながる。発達段階に応じた練習法を、教員間で共有することで、学校としての運動能力向上につながる。
- (5) 科学的な体育へのアプローチを考えたい。
- (6) 今の子どもは、そもそも自分から外に行かない。多様性の時代なので、無理に外に行けとは言えないが、多様性の多様を広げるには、チャンスを広げる必要がある。外に行かない子どもが外遊びを経験したうえで教室にいればよいが、経験もしないで外に行かないようであれば、外へ行くことを一律で行うことも必要ではないか。多様性は、キーワードだが、ポジティブに考えたい。
- (7) 異年齢で過ごす時間を意図的に作らなければならないであろう。昔は、駄菓子屋で異年齢が触れ合

い、その中でルールが伝わっていったが、今は、そのような場も無いので、意図的に異年齢を接触させる必要があると思う。

(8) 浦安市は、社会的資源が豊かだと思うが、活用されていないのが現状である。コミュニティ・スクールの機能を生かし、人的資源を発掘し活用できるところまでもっていききたい。

(9) 不祥事というのは、学校が真摯に対応すれば批判的なことは言われなくなる。隠そうとすると、なぜか知られることになり、事が大きくなるのが不思議である。昔も不祥事はあったが、報道の手段が限られていたうえ、スピード感もなかったので多さを感じなかったのではないか。現在は、インターネットの発達やSNSの普及、一家に一台のテレビから一人一台のテレビになり、情報の量とスピードが速くなったために、不祥事の多さを感じるのではないか。

(10) こども園と小学校の交流は、昨年度より格段に充実している。

(11) 小中学校と小学校2校の連携は、距離的な問題を解決しなければ難しいだろう。

⇒旅行行事の合同は、時期、行先、交通手段等を合わせなければならないことと、宿泊学習は、前年度に企画依頼をし、業者選定を保護者中心で行っているの、新年度の担任間でのやり取りでは実施が難しい。

4. 令和7年度学校運営方針（令和7年度に向けて）について

・学校経営方針を説明した。

◇委員の方からのご意見

(1) 「笑顔・知恵・たくましさ」とあるが、「笑顔」が最初に来ているところが素晴らしい。

(2) 挨拶は、交通安全指導を3年ほど行っているが、今年度は子どもから声をかけてくることが多かった。継続は力なりということかもしれない。

☆委員の方からは承認していただいた。

5. 令和7年度委員の推薦について

・現委員の方に一人ずつ意思確認を行った。

◇委員の方からのご意見

(1) 組織はメンバーの入れ替えで活性化するところもある。年齢的に考えなければならない。

(2) 仕事が忙しく、ご迷惑をおかけしているので、来年度はできれば遠慮させていただきたい。

(3) 人事異動があった場合、後任者に引き継ぐ。

(4) 地域在住が理想である。

6. 継続事項の進捗状況

・コミュニティスクールルームの活用について

◇委員の方からのご意見

(1) 部屋が充実してきている。

(2) 自治会で使いたい。

(3) 校長・教頭が活動しているが、一般教員も参加してもらおうとよい。

⇒令和7年度は、校務分掌として担当を位置付けている。

・美浜南小学校地域スポーツクラブ「みはにゃん」について

◇委員の方からのご意見

(1) 指導者の確保が大変だが、ミニバスケットボールとタグラグビーを実施しており、素晴らしい。

(2) 次年度の種目は何かあるのか。

⇒1学期にミニバスケットボールと野球を考えている。2学期はミニバスケットボールとサッカー、3学期は、ミニバスケットボールとタグラグビーを予定している。卓球は希望者が複数いたが、学校で行っているクラブ活動に「卓球クラブ」があるのでそちらで対応をしたい。

・令和7年度以降の学校電話対応について

◇委員の方からのご意見

(1) 年度初めに、保護者にはっきりと伝えるべきだ。

(2) 教職員の勤務時間を保護者は知らないので、伝えるべきだ。